

# 北インド古典音楽の夕べ

～サロードの奏でるラーガとタブラのリズムに酔いしれる

～

●演奏：デイヴィッド・トレイソフ（サロード） & ユザーン（タブラ）

●日時： 2014年5月16日（金） 18時開場 18時30分開演

●会場： 音工場（おとこうば）

●入場料： 2000円 ★要予約★

●お申し込み・お問い合わせ：早稲田（yoyakusarode@gmail.com）

当日連絡は03-5684-1344音工場へ

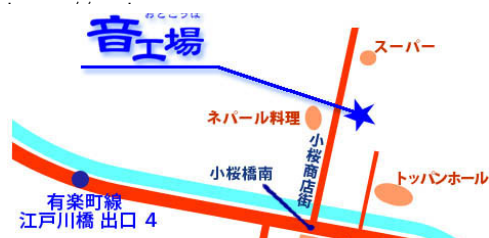
**David Trasoff (Sarode)** 1948年生まれ、アメリカ国籍。

故アリ・アクバル・カーンの弟子として、1973年よりサロード演奏と北インド古典音楽を学ぶ。合衆国およびインドにおける演奏で好評を得、以来、合衆国、ヨーロッパ、アジアのアート・センター、大学、専門学校、フェスティバル等のコンサートで演奏を行うほか、インド演奏ツアーも幾度となく行っている。カリフォルニア大学サンタバーバラ校で博士号、カリフォルニア芸術大学で音楽芸術修士号を取得。カリフォルニア大学サンタバーバラ校のインド音楽アンサンブルのディレクター、またカリフォルニア芸術大学、カリフォルニア大学リバーサイド校、カリフォルニア州立大学サン・マルコス校、ポモナ大学、及びロッテルダム音楽院でギター・プログラマー指導の経験を持つ。



**U-zhaan (Tabla)** 1977年生まれ。

オニンド・チャタルジー、ザキール・フセインの両氏からインドの打楽器「タブラ」を師事。'00年よりASA-CHANG&巡礼に加入し、『花』『影の無いヒト』など4枚のアルバムを発表。'10年に同ユニットを脱退後に、U-zhaan × rei harakamiとして「川越ランデヴー」「ミスターモーニングナイト」等を自らのサイトから配信リリース。salmon cooks U-zhaanの名義でも同サイトより3枚のアルバムを配信。その他 yanokami、七尾旅人、UA、HIFANA、大橋トリオ、小室哲哉など数多くのアーティストの作品にもタブラ奏者として参加している。



アクセス

112-0005東京都文京区水道1-5-10 第二山本ビル2F

03-5684-1344

●東京メトロ有楽町線 江戸川橋駅 出入口4より、徒歩10分